

トピックス

大阪大学箕面キャンパスが2つの賞を受賞!

大阪大学箕面キャンパスは、2023年に「第64回BCS賞」および「2023 ISCN Excellence Awards (Partnerships for Progress部門)」を受賞しました。BCS賞は1960年創設の日本建設業連合会が主催する歴史ある建築の賞であり、ISCN Excellence Awardsはサステイナブルキャンパスに関する国際的な大学ネットワークであるISCN(International Sustainable Campus Network)が主催する、サステイナブルキャンパスの推進に関する優れた取組を表彰するものです。ともに、建物自体の環境配慮への取り組みや、リビングラボ(生きた実験室)として民間企業と連携しキャンパス空間を活用した様々な空間・環境に関する研究が行われていること、また地域と連携した開かれたキャンパスであることなどが評価されました。これからの箕面船場の街のさらなる発展に向けて、引き続き地域の皆様と連携を深めながら、地域社会との共創を実現し、大学と地域社会の価値向上を目指していきます。(大阪大学サステイナブルキャンパスオフィスCD部門 准教授 池内祥見)



詳しくは右のQRコードから



箕面船場まちづくり協議会の活動 (2023 年度)

大阪大学夏まつりに参加

大学が船場に移転して2回目の夏まつりに箕面船場まちづくり協議会は「BOOK CAFE」として古書店を出店しました。夏まつりは学生による実行委員会主催のイベントで、2024年は7月6日(土)に大阪大学箕面キャンパスで開催されます。



アートフェス@箕面船場ひろばに出店

「箕面船場における文化芸術国際交流のまちづくり」の1回目のイベントとして開催されたアートフェスティバルに参加し、廃材を使った楽器づくり「GOMIでサウンドパーティ」や、子どもたちが未来の船場のまちを描くブースを出店しました。どちらも多くの子どもたちが参加しました。箕面船場まちづくり協議会はこのイベントの実行委員会メンバーとして、1年ほど前から企画や準備に参加しました。

開催日:2023年7月15日(土) 会場:大阪大学箕面キャンパスピロティ

NPOフェスタ参加

毎年恒例のNPOフェスタに参加し、市民の方々や箕面市で活動している多くのNPO法人や団体の方々と交流しました。今年度も古書の販売をしました。

開催日:2023年10月28日(土) 主催・会場:みのお市民活動センター

GOMIで宝物をつくらう

船場まちづくり協議会では廃材を使ったアップサイクルワークショップを毎年開催していますが、2023年度は落ち葉や枯れ木など自然の材料をはがきに貼るアートのワークショップを開催しました。多くの子どもたちが自由に落ち葉や枯れ木の枝などを貼り付けました。

開催日:2023年11月25日(土)・26日(日) 会場:ウェルビーみのお  
2023年度夢の実支援金交付事業(みのお市民活動支援金)

イルミネーション

船場の年末の名物になりつつあるイルミネーション。今回も船場図書館の大きな三角窓とデッキの樹木が光で綺麗に彩られました。人々が交流し、新たな文化が生まれる船場のシンボルとして今後も継続いたします。 期間:2023年11月27日(月)~12月26日(火)

協力:大阪船場繊維卸商団地協同組合・大阪大学サステイナブルキャンパスオフィスCD部門

箕面高校の探究学習

箕面高校の探究学習プログラムに、箕面船場まちづくり協議会から船場の「課題」を提供し、2年生の約80名が課題解決に取り組みました。生徒のグループからは「救急防災」「国際交流」「箕面船場の魅力発見」についてのアイデアが提案され、発表イベントを行いました。 期間:2023年9月~2024年1月 発表イベント:2024年1月27日(土) 会場:大阪大学箕面キャンパス



イベントのお知らせ

No Border Fest in Minoh

大阪大学箕面キャンパス3階ピロティにて、新しいお祭りが開催されます!大阪大学箕面キャンパスの留学生が中心となり、その名の通り子どもたちがノーボーダーに色々な文化を知り、体験するイベントです。美味しい食べ物やアート体験、まちづくりワークショップなど、様々なコンテンツが用意されています。留学生のブースでは「ファッション」「言語」「遊び」「音楽」の4つのテーマで世界の多様な文化と接し体験することができます。 開催日:2024年3月30日(土) 11:00~16:00 会場:大阪大学箕面キャンパス3階ピロティ他 主催:No Border Frst in Minoh 実行委員会



No Border Fest in Minoh

未来のまちを考えるワークショップ こども未来会議

こども未来会議はこどもたちが自ら課題を発見し、自ら解決策を考えるワークショップです。こどもたちの考える力や探究心、グループワークを通じたコミュニケーション力を養います。ワークショップでは留学生も参加し、グループで未来のまちを考えます。 開催日:2024年3月30日(土) 13:00~16:00 会場:大阪大学箕面キャンパス 3階 対象:小学4年生~高校生(定員12名 申し込み必要) 主催:箕面船場まちづくり協議会  
2023年度夢の実支援金交付事業(みのお市民活動支援金) こども未来会議参加申し込み



北大阪急行電鉄新駅開業時の時刻表と運賃

Table with 2 columns: 箕面船場阪大前駅 上り (箕面萱野ゆき) and 箕面船場阪大前駅 下り (なかもず方面). Rows show train numbers and arrival/departure times.

Osaka Metro区間の運賃は2023年11月時点のものです  
Osaka Metro乗換回数券は3月23日以降は発売中止

Table with 3 columns: Station, 箕面萱野, 箕面船場阪大前. Rows list stations and their respective fares.



船場と船場が直通! 大阪船場(大阪市中央区)を拠点としていた大阪船場繊維卸商団地協同組合が移転し、箕面市に「船場」の地名が誕生して約50年。2024年3月23日はOsaka Metro御堂筋線「本町(船場西)」駅と北大阪急行「箕面船場阪大前」駅が鉄道で結ばれ、大阪船場と箕面船場が一本の線で繋がる歴史的な日になります。

ラジオ体操にご参加ください

船場広場では平日の午前7時から地域の皆さんが参加してラジオ体操をしています。筋力アップや効率のいい有酸素運動、シェイプアップができます。(スタンプを集めて缶バッジと交換) 主催:箕面船場まちづくり協議会 開催日:平日 時間:午前7時~(雨天中止)



発行 箕面船場まちづくり協議会  
〒562-0035 箕面市船場東 1-8-51-302



http://www.minohsemba.com

・「まちづくり」についてのご意見を寄せてください  
・「まちづくり」の仲間を募集しています  
お気軽にご連絡ください

駅の誕生で船場のまちがさらに進化!

北急「箕面船場阪大前」駅開業



箕面船場まちづくり協議会がスタートした2018年の前年の2017年3月に第1回まちづくりフォーラムを開催いたしました。新しく生まれ変わる船場のまちの「学び・交流」「交通や人の移動」「安心安全」「子育て」などについて意見を交わし、新駅を中心とした新しいまちの姿をイメージしてきました。それから6年が経過し、いよいよ2024年3月23日に北大阪急行の延伸、及び新駅が開業します。この間、大阪大学箕面キャンパスの移転、船場図書館や文化芸術劇場のオープンによって、船場広場を中心としたイベントや多くの出会い、交流がありました。新駅「箕面船場阪大前」駅開業によって、ますますひとの交流が盛んになり、いよいよ船場から新しい文化の発信が始まります。



箕面船場阪大前駅エントランス付近完成予想図

## 新駅「箕面船場阪大前駅」開業で大きく変わるまちの未来 新しい駅へのアプローチ



- ① 船場広場（デッキ）
  - ② 船場生涯学習センター／船場図書館／箕面船場駐車場
  - ③ 文化芸能劇場
  - ④ 大阪大学箕面キャンパス
  - ⑤ 大阪大学グローバルビレッジ箕面船場
  - ⑥ COM3号館
  - ⑦ 箕面市立病院（予定）
  - ⑧ 箕面船場阪大ヘルスケア総合センター（仮称）
  - ⑨ 箕面船場第二駐車場
- 
- ① プリリアタワー箕面船場TOP OF THE HILL（397戸、2025年竣工）
  - ② エスリード箕面船場阪大前（63戸、2024年竣工）
  - ③ レ・ジェイド箕面船場ノースレジデンス（30戸、2024年竣工）
  - ④ レ・ジェイド箕面船場サウスレジデンス（30戸、2024年竣工）
  - ⑤ プリリアタワー（仮称）（161戸、2026年竣工）
  - ⑥ クラッシィタワー（仮称）（567戸、2026年竣工）
  - ⑦ シエリア箕面船場（60戸、2022年竣工）
- 
- A エントランス／駅南側メイン出入口（エレベーター・エスカレーター）
  - B 駅北出入口（COM2号館／階段）
  - C 駅北出入口（2024年度オープン予定）（エレベーター・エスカレーター）
  - D 歩行者デッキ出入口／ニューエリモビル（エレベーター・エスカレーター 終日使用可）
  - E 新船場西公園（エレベーター）
  - F 歩行者デッキ

### 発展するまちの展望

2022年～2026年にかけて船場東地区だけで建設中のマンションを含め、1,200戸を超える民間住宅の供給が予定されています。2003年～2005年には特別業務地区である船場東地区に第一次住宅ブームが訪れました。2022年6月時点では800世帯・人口1,500人でしたが、2026年には人口が3,000人を超えると予想されており、特に18歳未満の割合が箕面市全体と比べて著しく増加するものと推測されます。

小学生の通学面では、箕面市は船場東地区から萱野東小学校までの通学距離（2.4km）の長さを考慮し、新しく設置した歩行者デッキを利用することを条件に萱野小学校への就学校変更の特例制度を設けています。

箕面船場まちづくり協議会としても、大阪大学など関係機関と連携して「こどもを育むまち」への取り組みを行っています。

一方で「箕面船場阪大ヘルスケア総合センター（仮称）」の実現に合わせ、50年のまちの歴史とともに生活されてこられた皆さんとともに、「高齢者のフレイル」など今後計画される実証研究の認知活動も行いながら「健康寿命」を長くし、「いのち輝くまち」の実現に向けての活動をしてまいります。



**A** エントランス／駅南側メイン出入口  
左側エスカレーターは地下3階の改札階から2階デッキまで直通  
地下3階には市民ギャラリー「チカノバ」がオープン  
(地下改札階から地上方面)



**B** 駅北出入口  
COM2号館外階段



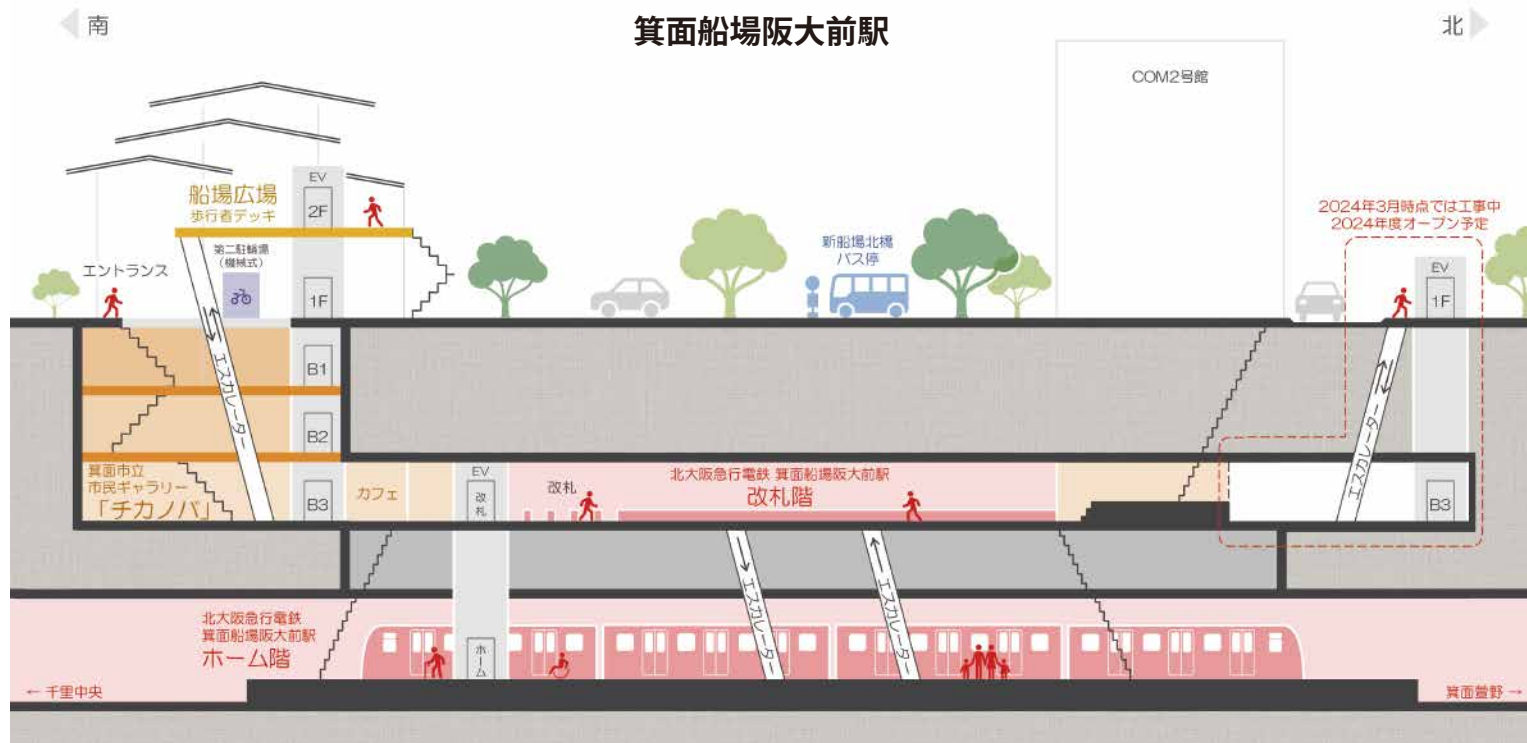
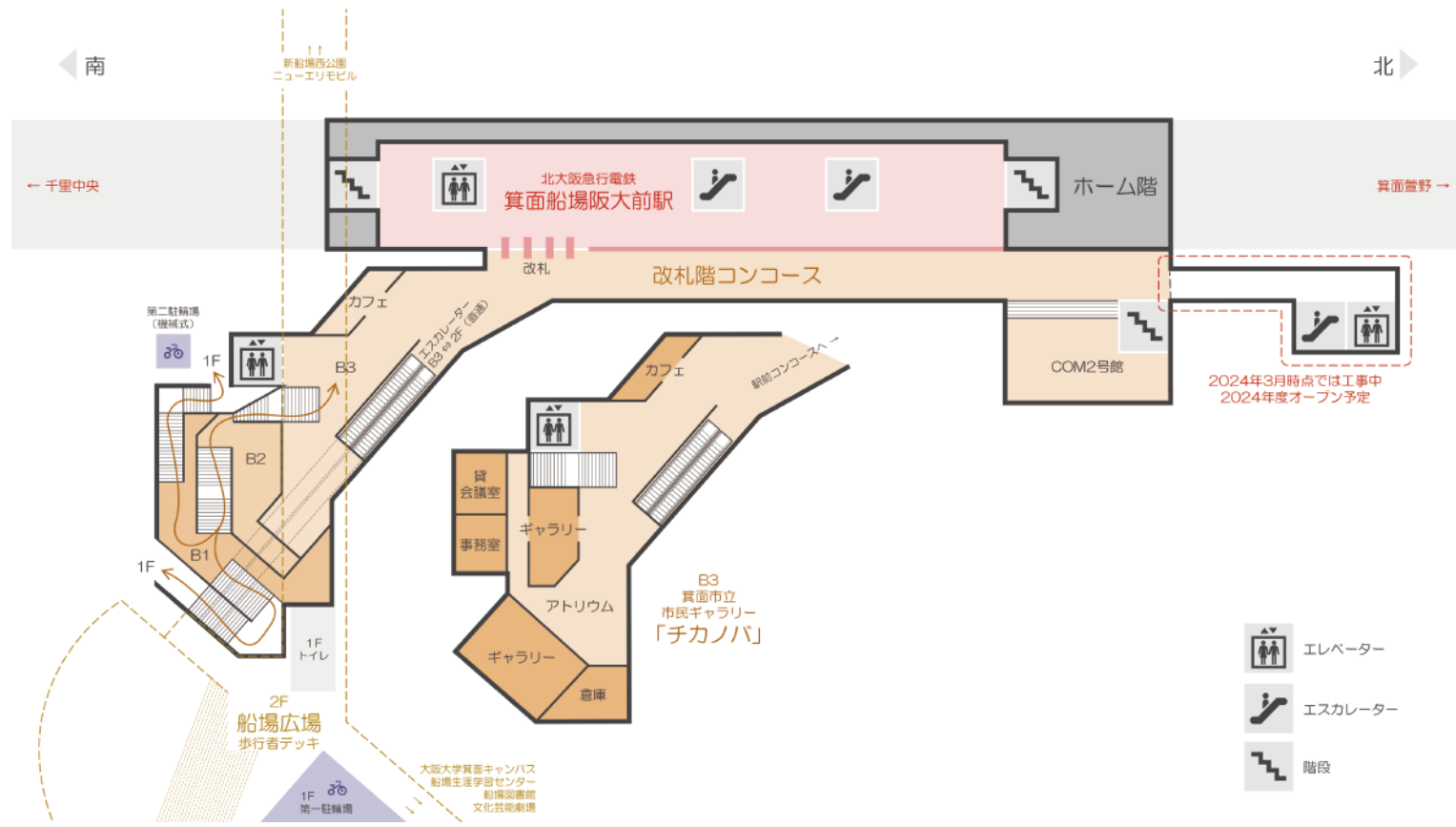
**C** 駅北出入口  
エレベーター・エスカレーターは2024年度オープン予定



**D** 歩行者デッキ出入口  
ニューエリモビルへの入り口とエスカレーター



**E** 新船場西公園  
エレベーターと階段、公園横の道路へはスロープでつながっている



### 箕面船場阪大前駅へのアプローチ

箕面船場阪大前駅へは南側のエントランス（駅南側メイン出入口）と北側の出入口から地下に下りることができます。南側のエントランスからはエスカレーター、エレベーター、階段を利用することができますが、エスカレーターは地下の改札階から地上2階の船場広場（デッキ）まで直通です。新御堂筋（国道423号線）を跨ぐ歩行者デッキは新船場西公園まで通じ、エレベーターと階段で地上（公園）に下りることができます。地上（公園）から道路へは新しくスロープが設けられました。また、歩行者デッキ中間地点のニューエリモビルからはエスカレーターを利用することができます。北側は新船場北橋の東側南のCOM2号館の外側階段を利用することができます。

新船場北橋東側北の歩道にはエスカレーターとエレベーターの設置工事が進められており、2024年度供用予定です。